

Q9

BCG 接種後の潰瘍の手当は、どうすればよいでしょうか。

A

接種後1カ月くらい経ちますと、管針の針痕に相当するところ一つ一つが小さい独立した膿疱になったり、かさぶたをつくったりしますが、これらは通常の反応であって、特別な処置は必要ありません。局所をいじったり引っ掻いたり、かさぶたをはがしたりしないように被接種者又は保護者に注意し、局所を清潔に保っていただければ十分です。

一つ一つの膿疱が融合して全体に大きい膿疱になったり、局所を引っ掻いて他の細菌の混合感染を起こしたりした場合は、5～10%程度のリファンピシン軟膏を局所に塗布したり抗菌薬入り軟膏で混合感染を治療することもあります。このような場合はごく少数です。